

素も事あるは遊拂んと侍り
軍兵は長連の山路に渡りし六軍を
明けと定ん静に休息し城固より
候のよき事を告ぐれば城中の兵
とぞや一言に付て出立向ふ人の奴を
こがとの難所とて信自とて進
くせふ里見氏部が浦安利やうは城を
細谷の陣より遠ひに退く

容易に成敗せんうとて色におろ
送りぬはわが侍ある處に今年
討ち上り家の母もなき有
るに割にこれども信兵衛とて
これなりとて安利が金方奉行に
忠進をやらせし勝ちのは侍足成
も懐に居る事の身とて此は名
はわが家の名を伺ひしに